

UDC 621.882.1

B 1001

# JIS

## ボルト穴径及びざぐり径

JIS B 1001-1985

昭和60年3月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 機械要素部会 ねじ部品の形状・寸法専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	北郷 薫	工学院大学
	吉本 勇	東京工業大学
	江藤 元大	千葉工業大学
	宇田川 鉦作	日本ねじ研究協会
	田辺 俊彦	通商産業省機械情報産業局
	山崎 宗重	工業技術院標準部
	青野 雄勝	ミネベア株式会社技術管理室
	伊藤 順一郎	黒田精工株式会社技術企画室
	佐藤 義朗	株式会社サトーラシ
	田中 誠之助	株式会社佐賀鉄工所開発部
	中田 重平	株式会社互省製作所製造部
	永峯 威如	日東精工株式会社ファスナー事業部
	林 完	株式会社名古屋螺子製作所第1営業部
	須永 順一	いすゞ自動車株式会社特許部
	田中 英夫	株式会社東芝開閉装置部
	田中 宏	三菱電機株式会社技術本部
	松井 博	株式会社彌満和製作所技術本部
	矢作 博美	日産自動車株式会社設計管理部
	山口 太郎	全国作業工具工業組合
	山本 巖	東急車輛製造株式会社技術研究室
	高山 和男	株式会社ネジの高山(日本ねじ商業協同組合連合会)
	中村 智男	日本ねじ研究協会
(事務局)	高橋 和敬	工業技術院標準部機械規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 35.3.1 改正：昭和 60.3.1

官報公示：昭和 60.

原案作成協力者：日本ねじ研究協会

審議部会：日本工業標準調査会 機械要素部会 (部会長 小玉 正雄)

審議専門委員会：ねじ部品の形状・寸法専門委員会 (委員長 北郷 薫)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課(〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## ボルト穴径及びざぐり径 B 1001-1985

## Diameter of Clearance Holes and Counterbores for Bolts and Screws

1. 適用範囲 この規格は、一般に用いるボルト・小ねじなどに対するすきま穴の径（以下、ボルト穴径という。）及びざぐり径について規定する。

備考 この規格で規定するボルト穴径の1級、2級及び3級は、ISO 273-1979 (Fasteners—Clearance holes for bolts and screws) の fine, medium 及び coarse によっている。

2. ボルト穴径の等級及び寸法 ボルト穴径の等級は、ねじ外径と穴径とのすきまによって1~4級に区分し、その寸法及び穴の面取り寸法は、付表による。

3. ざぐり径の寸法 ざぐり径の寸法は、付表による。